２０２４年５月１日現在

望月　美也子 （もちづき　みやこ ： MOCHIZUKI Miyako）

ライフデザイン総合学科

【職　　名】 准教授

【最終学歴】 名古屋大学大学院 医学系研究科 博士後期課程 退学

【学　　位】 修士（生活科学）

【専門分野】 ライフステージ栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、応用健康科学

【担当科目】 ライフステージ栄養学、ライフステージ栄養学実習、栄養教育論Ⅰ、栄養教育論実習Ⅰ、臨床栄養学、臨床栄養学実習、実践栄養学、栄養士校外実習事前事後指導

【所属学会】 日本栄養改善学会、日本ビタミン学会、日本老年医学会、日本体力医学会

【研究課題】・個人：栄養成分が各ライフステージの神経機能に及ぼす影響

・共同：栄養成分や身体活動量の増加による認知症およびフレイルの予防

【主な教育研究及び社会的活動】

（1）**論文**

・25-Hydroxy Vitamin D Exhibits NGF-like Activity in PC12 Cell, 筆頭著者, IJCND,Vol.7, pp.159-162 (2021.9)

・Association between Serum Vitamin D Levels and Muscle Weight of Adult Day-Care Center Clients in Three Different Latitude Areas of Japan, 共著, IJNCP,Vol.9, 355 (2022.3)

・A Novel Method to Predict Cognitive and Physical Function, Muscle Weight and Quality of Life in Japanese Elderly Using Deep Learning, 共著, IJNCP,Vol.9, 366 (2022.12)

・Qualitative Study on Important Elements of Life for Japanese and Thai Older Adults, 共著, J. Ageing Longev., 3(1), pp.11-32, (2022.12)

・老年看護学の新しい姿 1.アクティブシニアの健康増進・フレイル対策における血清ビタミン D の役割、 共著、 Geriatric Medicine 61(3) pp.207-210 (2023.3)

・Prediction of Serum Vitamin D Levels in Japanese Older Adults Using XGBoost Algorithm and Logistic Regression, 共著, IJNCP,Vol.10, 373 (2023.5)

（2）**学会発表**

・PC12 細胞に添加したビタミン D が神経突起の伸長と神経分化に及ぼす影響、 共同、 日本薬学会第 142 年会、 愛知県(2022.3)

・非対面による認知機能および身体機能評価の検討（パイロットスタディ）、 共同、 第 64 回日本老年医学会学術集会、 大阪府(2022.6)

【その他特記事項】研究費の獲得

・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究（C）、自閉症スペクトラム児の症状緩和に及ぼす血清ビタミン D 濃度の検討、研究代表者（2020.4-2025.3）

・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究（C）、タイ北部に倣うエンターテインメントケア：持続可能な認知症予防プログラム開発と評価、研究分担者（2021.4-2025.3）

・科学研究費助成事業学術研究助成基金助成金・基盤研究（C）、人工知能を利用したフレイル予防に関する臨床的研究、研究分担者（2022.4-2026.3）